

(別紙)

令和5年9月定例会議 一般質問

9番議員 佐々木 昇

水害対策はオールかいせいで

近年日本では、台風や集中豪雨などによって、毎年のように水害が発生している。今年に限ってみても、沖縄、九州、東北地方をはじめ日本各地で甚大な被害が相次いでおり、本町もいつ台風や集中豪雨に襲われてもおかしくない状況である。

本町のこれまでの主な水害対策への取組みのひとつとして、平成19年と22年の台風で受けた被害をもとに河川、水路改修等水害への対策及び将来の課題整理や整備方針について、平成22年度から平成26年度までの5か年計画としてまとめた「開成町水害対策検討結果報告書」(以下「報告書」という。)がある。10年以上前のものではあるが非常に良くまとめられた報告書であり、着実に実行することが必要と考える。

水害はある程度の予測ができ備え次第で被害を最小限に抑えることが出来るといわれている。被害を最小限に抑えるために、万全な体制を整えておく必要があると考え、以下の項目について問う。

- ① 報告書の実施状況と課題の対応について。
- ② 被害の想定は。
- ③ 「自助」「共助」「公助」の必要性は。